



佐藤弘志さん（左）のビニールハウスで、採れたての白菜を味わう受講者

「若手農家のガイドブック」の編集協力のため、5月17日、18日の2日間、東京都の市民大学「丸の内朝大学」復興プロデュース・サイクラスの受講生ら13人が来奥しました。同ガイドブックは、江刺区の若手農家が中心となり、地域農業の魅力を発信するため制作するものです。

一行は2日間で江刺区の若手農家7軒を訪問し、農業へのこだわりや、生産者の素顔などを取材。参加した櫻本真理さん（32）は「生産者の人柄にフォーカスを当て、魅力を伝えたい」と熱意を語りました。

「地域農業の魅力をガイドブックで発信」



協定を締結し握手する（右から）小沢昌記市長、大山社長、橋本良隆県商工労働観光部長

市は5月30日、アイリスオーヤマ㈱のグループ会社、アイリスフーズ㈱（本社・宮城県仙台市、大山健太郎社長）と立地協定締結の調印式を行いました。

同社は、胆沢区の㈱高橋フーズ（高橋信社長）から切り餅製造・販売事業の譲渡を受け、同日から同区の工場で操業を開始。大山社長は「東北のおいしい米で新商品を開発し、シーズンに関係ない販売促進を——」と意欲を語り、小沢市長は「しっかりサポートさせていただきたい」と謝意を述べました。

「アイリスフーズ㈱と立地協定」



広々と整備された多目的グラウンド

常盤地区センター多目的広場のオープニングセレモニーが5月16日、関係者ら約50人が出席し同広場で行われました。古川守人常盤地区振興協議会長のあいさつに続き、テープカットが行われ、新たな地区民の憩いの場の開設を祝いました。

同施設は1510平方メートルの多目的グラウンドのほかに、普通自動車18台分の駐車場を完備。常盤地区センターが管理を行い、午前8時30分から日没まで無料で貸し出されるほか、広場の名称を一般公募により決定することになっています。

「常盤地区センター多目的広場がオープン」



屏風の前で及川氏より西陣織の証明書を受け取る小沢昌記市長

京都市の㈱美工苑代表取締役社長で奥州名誉大使の及川光夫さん（75）は江刺区玉里出身。より5月7日、六曲二双の屏風が市に寄贈されました。

これは、西陣織のデザインを行う紋意匠で伝統工芸士でもある及川さんが、東日本大震災からの復興の願いを込めて作成したもの。これまでに月日をかけて手掛けてきた西陣織の生地75点が張り合わされています。及川さんは「日本の伝統ある織物の世界を、市民の皆さんに知ってもらいたい」と語りました。

「西陣織に復興の願いを込めて」



市が東北誘致に取り組んでいる「国際リニアコライダー（以下、ILC）計画」について最新情報をお届けします

希望のひかり

第20回

市ILC推進連絡協議会の総会が5月18日に行われました。さらに同日、市と同協議会の共催で講演会を開催。今回は、この様子や県立水沢高校が開催したSSH英語講演会、中学校ILC出前授業の様子などをお伝えします。

市ILC推進連絡協議会総会

市ILC推進連絡協議会総会が5月18日、江刺総合支所で行われました。

本総会では、平成25年度事業の報告のほか、ILCの誘致実現に向けて取り組みを進めていくとした26年度の事業計画などを承認。また、本年度は役員の変更期で、小沢市長の会長再任と奥州商工会議所の千葉龍二郎会頭、岩手ふるさと農協の門脇功経管理委員会長の両氏の副会長再任を決定しました。

総会終了後は、市と同協議会の共催で、ドイツ・マイン

ツ大学の齋藤武彦教授を招き講演会を開催。同協議会の会員や市民など約130人が聴講しました。齋藤教授は、今回が3回目の来奥。「子どもたちに伝えたいILCの魅力」と題し、宇宙や素粒子、ILCなどについてユーモアを交えながら説明しました。



聴講者席に歩み寄って話す齋藤教授

昨年からは齋藤教授は、県内の大学に理学部を設置する構想を提案していましたが、その検討が岩手大学で進んでいると今回の講演で報告。「岩手の大学教育を変えることが出来れば、間違いなく岩手が世界一になる」と実現に期待を寄せました。また、「奥州市はILCの中心的な役割を

水沢高校で英語講演会

文部科学省から「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）」として指定を受けている県立水沢高校（高橋和夫校長、生徒725人）は5月14日、県の国際交流員を講師にSSH英語講演会を開催しま

した。

講師を務めたアマンダ・クリプス国際交流員は、生徒たちに英語の重要性を解説したほか、ILCとの関わりにも触れ、この地域を訪れることになる外国人研究者などに「歴史や食べ物、面白いものなど」を紹介して欲しい」と話しました。

ILC出前授業がいよいよスタート

中学校ILC出前授業が、5月20日の田原中学校（川邊秀樹校長、生徒18人）を皮切りにスタートしました。

これは、市がNPO法人イーハトーブ宇宙実践センターに委託して実施しているもので、今回授業を受けたのは、同中学校2年生7人。国立天文台水沢VLB観測所の澤田聡子博士と同センターの小野寺喜美男さんによる宇宙やILCの話に、生徒たちは熱心に耳を傾けていました。

有識者会議が検討開始

文部科学省は5月8日、日本学術会議の指摘を踏まえ、ILCの国際的経費分担や人

=今後の予定=

- ▶ 6月26日 公開ILC講演会〔午後1時15分～、岩手県民会館〕
- ▶ 8月23日 ILC計画講演会〔時間未定、市文化会館（Zホール）〕



真空放電管の仕組みを体験した出前授業

本コーナーでは、ILC計画について皆さんからの質問にお答えします。電子メール、ファクスでお気軽に質問ください。お問い合わせ先：本庁政策企画課ILC推進室（内線412・415、☎02553・☎city.oshu.iwate.jp）